

平成 21 年度 第 1 回理事会 議事録

I. 会議名 : (社) 日本地すべり学会 平成 21 年度第 1 回理事会

II. 開催日時 : 平成 21 年 8 月 25 日 (火) 15 時 00 分～17 時 00 分

III. 開催場所 : チサンホテル新潟 佐渡の間 (新潟県新潟市中央区笹口 1-1)

IV. 出席者 : 理事出席 26 名○、理事委任状 7 名△、監事出席 0 名○、監事委任状 2 名△

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
理事	丸井 英明	○	理事	櫻井 正明	○	理事	前田 寛之	○
理事	吉松 弘行	○	理事	末峯 章	○	理事	松浦 純生	△
理事	広嶋 孝也	○	理事	田尾 秀夫	△	理事	宮城 豊彦	○
理事	綱木 亮介	○	理事	千木良雅弘		理事	森脇 寛	○
理事	阿部 真郎	○	理事	千葉 則行	○	理事	八木 浩司	○
理事	伊藤 驍	△	理事	土屋 智	△	理事	山岸 宏光	○
理事	岩尾雄四郎	○	理事	寺田 秀樹	○	理事	山崎 孝成	○
理事	鶴飼 恵三	△	理事	東畑 郁生	○	理事	山本 哲郎	
理事	岡本 正男	○	理事	中村 浩之	○	理事	横山 俊治	○
理事	奥山 武彦	○	理事	西村 一徳	△	監事	上野 将司	△
理事	小野 慎吾	○	理事	日浦 啓全	○	監事	若井 明彦	△
理事	宜保 清一	○	理事	檜垣 大助	○			
理事	佐々 恭二	○	理事	福岡 浩	△			

議事録署名人として、森脇寛理事と寺田秀樹理事を選出した。

前回の議事録案を確認し、原案が承認された。

I. 議事

I-1. 学会賞の審査報告について

古谷委員長より、表彰委員会での選考過程が説明された。

その結果、今年度の学会賞は特別賞(功績賞)として中村三郎会員を推薦することが報告された。

協議の結果、推薦委員会の案が承認された。

I-2. 研究発表大会の開催について (H22 準備状況および H23 開催ブロック)

桧垣事業計画部長より、H22 年度沖縄大会に向けてのスケジュールが説明された。

H23 年度は、開催手順に従い東ブロックを前提として、中部・関東両支部と調整を図っていくことが報告された。

協議の結果、H23 年度研究発表開催ブロックについて承認された。

### I-3. 繰越収支差額の差異について

大隈事務局長から、文科省より「繰越収支差額に関し、前年度及び今年度の決算報告が合致していない」との指摘を受けていることが報告された。

理事会・総会で承認された決算報告なので、修正する場合には同様な手続きが必要である旨が指摘されている。

この指摘に対して、今後文科省・税理士と処理方法を相談して、具体的な修正方法について結論が出た段階で、理事会に諮り対応することとしたい旨が説明された。

協議の結果、対応方針が承認された。

### I-4. 国際会員数の推移について

大隈事務局長から、国際会員数の推移が報告された。

2007年に会員増を呼びかけたことにより、その後増加傾向が続いており、現在の国際会員数は47名となっていることが報告された。

今後も会員増に努めていくことが了承された。

### I-5. 基金取崩しに関する事業計画について

小野総務部長から地震地すべりプロジェクトの事業計画書、綱木専務理事からホームページリニューアルの事業計画書の説明がなされた。

2件の事業を推進していくに当たり、基金として管理している597万円強の定期預金を取り崩し、この資金とすることが承認された。

### I-6. 甘肅省研究者交流について

吉松副会長から、甘肅省訪問団のスケジュールとその対応について説明がなされ、関係機関の協力に関して感謝並びに今後の協力依頼が述べられた。

今後も交流を継続していくことが了承された。

### I-7. 公益法人移行手続きについて

大隈事務局長から、総会で承認された新定款案を公益法人認定委員会窓口で相談した結果、若干の修正事項が指摘されたことが報告され、修正した定款案が説明された。

また、申請ロードマップが示され、丸井会長から今期中に申請を行う方針が示された。

学会活動を活性化するためには役職者の任期を設けるなどの内規を作成すべきではないかとの意見及び若手育成・後継者育成を考慮した組織作りを行うべきとの意見も出された。

協議の結果、定款案及び行程が承認され、執行部で今後の方針を検討していくことが了承された。

### I-8. その他

・岡本理事から、全国治水砂防協会では台湾との技術協力の一環として、台湾の台風8号災害に関して災害復旧に寄与することを目的とした調査団派遣を検討している旨が説明された。

派遣時には、地すべり学会・砂防学会などの協力を得たいと考えており、学会から調査団への参加を依頼された。

## II. 報告

### II-1. 企画委員会報告(各企画委員長)

各企画委員長より、活動報告・活動予定等の報告がなされた。

#### (1) 出版事業企画委員会

綱木専務理事より、Landslides in Japan の編集状況について説明がなされた。

編集委員長は、土屋理事に依頼したことが報告された。

### II-2. 各部, 支部からの報告(各部長, 支部長)

各部長, 支部長より、添付資料を基に活動報告・活動予定が報告された。

総務部から、今後の理事会・幹事会・H.22 総会の開催日と開催場所が報告された。次回の理事会は、11月27日(金)に学術センター会議室で開催する予定である。

編集出版部から、H.22年1月より、雑誌の発刊を年度から暦年に改めるため、46巻は4号で終了することが報告された。

### II-3. その他

#### (1) 入退会者報告

大隈事務局長から、8月25日現在の入退会者が報告された。

リストの氏名に一部重複者があり、それを訂正の上承認された。

入退会者は、理事会承認事項のため、次回からは協議事項とすることで了承された。

#### (2) 話題

宮城理事から、荒砥沢地すべり地区をジオ・パークにする構想が出ていることが紹介された。

以上

議 長 ⑩

議事録署名人 ⑩

議事録署名人 ⑩